

# c.com

vol. 81  
2021.Oct



2021 ピースアクション in ヒロシマ 安田女子大学書道学科 大書パフォーマンス

平和とより良き生活のために

広島県生活協同組合連合会

# 10年前と これからの中の10年

生命の危機の根幹は変わったのか？



広島県生活協同組合連合会  
会長理事 岡村信秀

2008年9月15日、100年に一度の危機と言われたリーマンショックは世界規模の金融危機を連鎖的に発生させ株価は暴落しました。このような状況のなかで、2009年12月の国連総会は、2012年を「国際協同組合年」と決議し、今後の社会・経済開発における協同組合の役割に期待を示しました（社会的価値）。決議の前文に、国連総会は「協同組合が、経済と社会の発展への人々の参加を最大限に促し、経済と社会の発展の主要となりつづり、貧困の根絶に寄与するものであること

を認識する」。協同組合の社会的価値は、食料、自然環境保全、エネルギー、福祉、医療、労働などの社会問題の領域で、「現在協同組合がどのような活動を展開しているのか」と「今後の方向性を明らかにすること」など述べています。

国内では、「2012国際協同組合年実行委員会」が、2010年8月、経済評論家の内橋克人氏（2021.9.1死去）を代表に選出し、①協同組合の価値について社

会的認知度を高める ②協同組合の設立と発展を促進する ③協同組合の設立や発展につながる政策を定めるよう政府と関係機関に働きかける を掲げ発足しました。広島では、2011年4月、広島県協同組合連絡協議会（HJC、JA・生協・森林組合・漁協など11団体）を軸に広島県社会福祉協議会、ひろしまNPOセンター、ワーカーズコープなどが加わり21団体・2個人で構成された実行委員会がスタートしました。実行委員会では、◆グローバル経済を背景に、市場原理や規制緩和が進むなか、「無縁社会」といわれる「ばらけた社会」が出現している。◆人と人との絆を再生し、地域の活性化、雇用の創出、自然環境保全、地球温暖化対策（再生可能エネルギーの拡充）、食料の安全保障、福祉などへの協同組合への期待が高まっている（社会的価値）。

◆そのようななかで、〈協同と地域コミュニティの再生〉をテーマに、食料・農業、環境・エネルギー、医療・福祉等の分野において、行政や多様な団体とも協働しアクションプログラムを作成するため学習や研究をおこなう。さらには、被爆地で活動する協同組合として平和活動について共通の認識をもつ」を掲げました。

具体的には、内橋克人氏が長年提唱してきた「FEC自給圏づくり」をめざし、食・エネルギー（再生可能エネルギー）・ケア（Food,Energy,Care）そして平和の4つの分科会を設置し、アクションプログラムを策定しました。時期が重なり、2011年3月11日、日本は東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故により甚大な被害と未曾有の危機に直面しました。

そのような危機の中、県連は独自に「FEC自給圏づくり」を軸に地域循環型社会経済システムを形成し、「誰もが安心してくらせる持続可能な地域コミュニティの再生」をめざしたビジョンを策定しました。大災害時に典型的に見られるように、自己責任（自助）と政府・行政の援助（公助）だけでは十分な対応はできません。そこには共助による助け合いが不可欠です。その典型的な共

助（共益）組織である協同組合は、組織の特性である「人ととの結びつき」を大切にしてきましたが、阪神淡路大震災（1995.1.17）、東日本大震災をきっかけに地域社会からの期待がますます増大してきました。そして、現段階はコロナ禍による生命の危機に直面しています。この度の感染拡大は、グローバル化を背景に、ヒトやモノが国境を越えて地球規模で移動する現代社会がウイルスのパンデミックを生みだし、これまでの社会経済システムの歪みを突きつけました。特に生命の根幹を支えている医療体制のひっ迫は現行の制度やシステムの脆弱さが露呈したといえます。

10年前の原発事故によるエネルギー問題、そして今回はコロナ禍による医療問題、そして次にくる危機は食料の安全保障問題かもしれません。日本の食料自給率（カロリーベース）は、1965年度には73%あつたものが2020年度には37%まで落ち込みました。胃袋の6割強を海外に依存しているということです。ちなみに、主要国の一〇一八年度の食料自給率はカナダ264%、オーストラリア223%、アメリカ130%、フランス127%、ドイツ95%、イギリス63%、イタリア60%。先進国の中で最大の食料リスクをかかえている日本は、異常気象が多発し世界的な食料危機が叫ばれ、世界が「飢餓パンデミック」（国連世界食糧計画）の瀬戸際にある今日、国際社会がひとたびパニック状態に突入すれば一瞬にして最悪の生存危機に陥ることになります。よって、現局面における重要な国策の一つが食料自給率の回復です。

だとすると、今後の最重要課題は、生命の維持と暮らしの根幹を支える領域である食・食料、エネルギー・環境、医療・介護・助け合いの国内・地域自給とそれを持続可能なためのシステムの確立だと考えます（FEC自給圏づくり）。FEC自給圏づくりは生命関連産業（生命経済）と言い換えることができますが、浪費と環境負荷を最小限におさえ、地域資源を最大限活用した循環型の



社会経済システムの形成により可能です。生命経済は、比較的小規模で、地域の中で人と人が結びつき、地域の活性化と新たな雇用を創出するため、誰もが安心してくらせる持続可能な地域コミュニティの再生につながります。よって、FEC自給圏づくりを基礎産業として位置づけ、これまでの基幹産業といわれている分野の環境負荷への縮小と持続可能な再編がコロナ禍の最大の教訓だといえます。

以上のように整理すると、10年前と今後の10年の根幹は何も変わらないということになります。よって、今後めざすべき方向性は、引き続き人と人が結びつき、「FEC自給圏づくり」を軸に国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」（気候変動 平和と公正、飢餓と貧困の撲滅、健康と福祉 エネルギーなど の目標）を重ね合わせた「共生社会」を形成することです。言うまでもなく持続可能な共生社会を形成するためには、徹底した情報開示（透明性）と民主主義が日常的に機能し、政府・行政と国民・市民との信頼関係が前提となります。その意味で、これまで協同組合が大切にしてきた「三位一体の運営原則」（組合員が出資し、利用し、運営するという協同組合版民主主義）は持続可能な共生社会を形成する際参考になると考えます。

### 気候変動と生命の危機

- ・生命のつながりは生物多様性で形成（生態系の維持）。20世紀は科学の進歩や経済の発展により便利な暮らしを得たが、地球環境へ多大な負荷を与え、気候変動という負の遺産を残した。その結果、世界各地で生物多様性が崩壊し、生命のつながりが絶たれつつある。
- ・最近の調査では、現存する核兵器の0.03%による小規模な核戦争さえ、壊滅的な気候変動を起こすと結論づけている（2010.11.12 ノーベル平和賞受賞者世界サミット、於広島）。
- ・人間や企業の活動がCO<sub>2</sub>を大量に発生させ、温暖化を促進させたことが主な要因であるが、地球規模での深刻な問題となってきた。近年多発する甚大な自然災害は平和な日常を一変させ、惨劇と不安な日々が続く。
- ・国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、2021年8月4日、産業革命前と比べた世界の平均気温上昇幅が2030年代初頭に1.5度に到達すると評価。さらに、世界の平均気温は産業革命前からすでに1.09度上昇。今世紀末には最大3.3～5.7度上昇する可能性があると警鐘する。

### 《地球温暖化が地球を襲う11の脅威》

熱波（熱中症や死のリスク増大）、洪水（世界各地で発生）、スーパー台風（強烈な風雨）、海面上昇（海拔が低い地域は消滅の可能性大）、大気汚染（オゾン層破壊の発生）、山火事・水資源の枯渇（乾燥した地域では干ばつが頻発）、食料不足・飢餓（食料生産、とくに水産物や穀物に打撃）、健康・衛生（伝染病の蔓延、感染症の拡大リスク増）、紛争の勃発（貧困や飢餓が引き金に）、海の酸性化・種の絶滅（熱帯に生息するサンゴ礁や北極圏の生物は危険な状況に）、災害格差・気候難民（交通機関やインフラの格差がさらに格差を拡大、難民の発生）。

# 崇徳高等学校 新聞部記者が伝える

## 2021年の夏

2021-ピースアクション in ヒロシマに参加して

あらゆる核兵器の開発や実験、使用などを禁じる国際条約「核兵器禁止条約」が今年1月に発効されてから初めて迎える8月6日。

新たな想いを胸にヒロシマは

犠牲者を追悼する祈りに包まれました。

ヒロシマに原爆が投下されて今年で76年。

ヒバクシャの高齢化は刻々と進み、

平均年齢は84歳に近づいています。

次世代への継承が大きな課題となっているなか

学校法人崇徳学園 崇徳高等学校 新聞部記者が

「2021-ピースアクション in ヒロシマ」を取材。  
平和について新聞を制作しました。

←1875（明治8）年創立  
学校法人崇徳学園 崇徳中学・高等学校



### 2021 ピースアクション in ヒロシマ企画一覧



8月4日 (水)	ライブ配信	<被爆の証言「サダコと折り鶴の話」> 「原爆の子の像」で知られる佐々木禎子さんについて、同級生で自身も被爆者である川野登美子さんにお話を聴きました。
	公開動画	<デジタルアーカイブで記憶を未来へ～大学の研究チームと学ぶ新しい「記憶の継承」～> 東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授の渡邊英徳さん、同大学院渡邊英徳研究室博士後期課程・株式会社ユーカリヤ代表取締役の田村賢哉さんに、証言や写真など被爆に関するさまざまな資料がデジタルアース上で閲覧できる「ヒロシマ・アーカイブ」などの取り組みについて説明いただき、その活用などを考えました。
8月5日 (木)	ライブ配信	<石原智子さんに聞く被爆の証言> 被爆者からご自身の体験を聞き、被爆の実相を学びました。
	公開動画	<被爆体験詩の朗読会> 広島の劇団「演劇集団ふらっと」による被爆体験詩の朗読を聞き、核兵器の非人道性と平和について考えるきっかけをつくりました。
<オンライン碑めぐり 2021> 生協ひろしま碑めぐりガイドによる案内で、遺構・慰靈碑を学習しました。		

## コロナ禍で見たヒロシマ

爆心地から約2キロに位置する崇徳高等学校。8月6日の原爆投下では生徒と教職員あわせて522人が犠牲になりました。新聞部が創部されたのは1949年。毎年8月6日に広島の街に出で、その様子を伝える「特集号」を作成しています。

「崇徳高校が男女共学になり今年で2年目。新聞部の女性部員も50名近くになりました。いろいろな目線で平和を考えるいい機会だと思い、今年の紙面のテーマは『自分たちに何ができるか考える』にしました」と顧問の花岡健吾先生。しかしながらコロナ禍で活動はままならず、ときには休止になることも。

「緊急事態宣言の発令によって行動が制限され、取材に苦労しましたが、平和記念式典後の平和公園を取材しました。例年に比べて人が少ないのはわかつていきましたが、思っていたより人が少なく、このままでは平和への関心が薄れていくのではないかと不安を感じました」と話してくれるのは前部長・川上真生さん（3年生）。

「そんななか初めて『2021ピースアクション in ヒロシマ』を取材させていただきました。『虹のひろば』では、いろいろな人が平和について発信していることに刺激を受けました」。

### 新聞を通して伝えていきたいこと

「僕たちの作っている新聞の読者は、高校生。若い世代にとって、平和というテーマは広範で、受け取り方もさまざまです。どうすれば身近に感じてもらえるのか、どのように伝え方をすればいいのか悩んでいました。

『2021ピースアクション in ヒロシマ』で、書道のパフォーマンス（安田女子大学）や原爆の絵（広島市立基町高等学校）を通して、平和を考え、伝えていることに驚きました。同世代はこんな活動をしている、こういう考え方や感じ方をしているということを、新聞を通じて伝えたい」と前部長・川上真生さん（3年生）。

じて伝えることができれば、平和についてもっと身近に感じてもらえるのではないか、と考えました。若い世代に必要なのは、「自分たちは何ができるのか」自分自身の問題として捉える自覚です。そのきっかけとなる紙面にしていきます」。

「ヒバクシャの方々は、私にとって曾祖父、曾祖母の世代。やはり時間の長さを感じます。しかもヒバクシャの高齢化は進んでいます。

私たちの世代でできることは何か考え、そして行動する

ことが重要です。『虹のひろば』でさまざまな人が、自分の方法で想いを発信しているのを見て平和の想いを伝える新たな切り口があることを学びました。今後の参考にしたいです」。



副部長・小林未来さん  
(2年生)

今回の取材は、いい経験になったと川上さん。「だからこそこれで終わりにしたくない。大学生になり新しい友人ができた時、自然な形で『平和』や『ヒロシマ』について話し合えるようになりたい。そういう時代が実現するようにこれからも活動していきたいです」。



前部長・川上真生さん  
(3年生)

### <被爆体験伝承講話>

被爆者の被爆体験や平和への想いを受け継ぎ、それを伝えている「被爆体験伝承者」の講話を聴きました。

#### <ヒロシマ虹のひろば>

広島から全国の皆さんへジャズトリオによる被爆ピアノコンサートや、被爆体験の証言、県内高校生による取り組み紹介などをお届けしました。



安田女子大学



広島市立基町高等学校



崇徳高等学校

8月5日(木)  
ライブ配信

\*2021ピースアクション in ヒロシマの映像は特設ポータルサイトで視聴できます。（<https://peace.jccu.coop>）



## 平和の取り組み

# 「ピースナイター2021」を開催しました。



子どもも碑めぐりガイドとして活動している寺田帆波さん（右）



バックスクリーン大型ビジョンに登場した湯崎広島県知事

8月21日（土）ピースナイター2021を開催しました。核兵器廃絶と戦争のない世界の実現に向けたメッセージを被爆地広島から発信していく目的で、2008年から始まつたピースナイターは今年で14年目を迎えました。コロナ禍で企画内容を縮小し、湯崎広島県知事、松井広島市長のメッセージ・子ども碑めぐりガイドの紹介・組合員のピースメッセージを大型ビジョンでの放映と、鳩と原爆ドームのデザインに変更し、選手・審判等の袖にピースワッペン貼付のみで行いました。始球式では子ども碑めぐりガイドとして活動している寺田帆波さんが務めました。

（報告：生協ひろしま 柏原民孝）



ピースワッペン



演奏風景



被爆ピアノを囲んで

## 開催（広島市安芸区・三次市） 「生協ひろしま創立50周年 「被爆ピアノコンサート」

6月26日（土）広島市安芸区民文化センター、6月27日（日）みよしまちづくりセンターで生協ひろしま創立50周年記念「被爆ピアノコンサート」を開催しました。

被爆ピアノが奏でる音色は76年を経ても変わらず、平和の尊さ、大きさを伝えています。保管・管理されている調律師矢川さんの話もピアノとともに演奏者、参加者に受け継がれたと思います。コンサートは来年3月まで県内各地22ヶ所で開催します。

（報告：生協ひろしま 柏原民孝）

## 「国際平和デー」 核兵器廃絶と世界恒久平和実現を祈念

国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。

その記念行事（広島平和文化センター主催）に2つの広島県原爆被害者団体協議会と平和活動に取り組む高校生（広島女学院中学高等学校）、国連ユニタール広島、広島県生協連が参加。原爆死没者慰靈碑に献花を行った後、「核兵器廃絶に向け平和への潮流を広げよう！」という平和首長会議の横断幕を掲げ、慰靈碑に献花を行い、「平和の鐘」を打ち鳴らす中（広島県生協連が打鐘）黙祷を捧げ、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を祈念しました。2012年から続く行事で広島県生協連は2013年から参加しています。

広島平和文化センター荒瀬尚美常務理事からは、平和首長会議が7月に策定した「持続可能な世界に向けた平和的な改革のためのビジョン（Pビジョン）」について触れ、「その行動計画（核兵器のない世界の実現・安全で活力のある都市の実現・平和文化の振興）」のひとつひとつを市民と一緒に取り組むことで平和への大きな潮流をつくり、絶対悪の核兵器を廃絶し、恒久平和を実現していきましょう」と挨拶がありました。

広島県生協連から、岡村会長理事、難波副会長理事、福島事務局長が参加しました。今後も広島市（広島平和文化センター）の取り組みに協力し、連携を大切にして、核兵器廃絶を訴えていきます。



参加者で黙祷

## 災害支援活動

(コロナ禍・大雨土砂災害)

### 第1回食料＆日用品無料広場を開催しました。

福山医療生協

と き：7月29日（木）

ところ：みんなの家どんどん

福山医療生協は、SDGs「誰も取り残さない社会の実現をめざして」の理念のもと、「①貧困をなくそう・②飢餓をゼロ・③すべての人に対する健康と福祉を」に沿って、子どもを抱え支援を必要としている親世代や高齢者、若者、学生を対象に「広場」を開催することとしました。

困難が可視化していないなか、来たくても来られない方のため、常設の「いつでも相談窓口」を設置して対応しています。

福山大学、福山平成大学へは、ベトナム語、韓国語も表記したポスターの掲示をしていただきました。外国の方が住んでいる寮やアパートにも外国语表記のチラシを配布しました。

当日のボランティアは14名で、接待のおむすび弁当100食をつくつていただきました。

のべ参加者は自宅届けを含め65件でした。

その内、向陽町のIさんは、当日参加できずの方のために7軒分を配布。他にも、近くの独り暮らしの方に届けて下さる方もいました。

ました。6人家族の方は、「子どもの食費がかさむので、お米は一番うれしい」。自転車で来られた高齢男性は、「助かります。これまで一息付けています。ありがとうございます」と喜ばれました。町内会長にも覗いていただき、激励を受けました。

その他「コロナの影響で生活が苦しい」「仕事を失うかもしれない」「払うもののがかかる」「食費がかさんで困る」「医療費もかかる」「コロナのせいでアルバイトの時間が少ない」等、切実な声が寄せられました。

「仕事を失うかもしれない」「払うもののがかかる」「食費がかさんで困る」「医療費もかかる」「コロナのせいでアルバイトの時間が少ない」等、切実な声が寄せられました。



## 大雨土砂災害支援活動

（看護師派遣）

広島中央保健生協・広島医療生協

8月13日（金）から続いた記録的な大雨により、全国各地で大きな被害が発生しました。広島県内においても土砂災害が多くの場所で発生し、数多くの方が被災されました。

己斐上地区では支援要請があつた方への支援はほぼ終了していますが、それでもまだ、重機による土砂撤去を継続している世帯も残されています。

田方地区では、被災された約20世帯のうち、約10世帯から支援要請があり、現在も作業は継続しています。今日（9月9日現在）も20人以上のボランティアの方に支援いただいています。



ボランティア活動を進めることで、今までには「熱中症との戦い」でしたが、今回はそれに「コロナとの戦い」も加わり、大変苦慮しています。ボランティアの方の安全・安心を確保するため、医療職の方の協力は必須と考えています。ですがコロナウイルスの影響もあり、調整が困難な状況がありました。

コロナ禍だからこそ、「協同にもとづく助けあいの活動」をすすめていきましょう。（報告：広島県生協連 渡辺とおる）

の把握をすすめました。

災害発生当初は、地域住民の方を中心にはかさまでの、お米は一番うれしい。自転車で来られた高齢男性は、「助かります。これまで一息付けています。ありがとうございます」と喜ばれました。町内会長にも覗いていただき、激励を受けました。

本当に助かっています。心よりお礼申し上げます。生協以外からも、日本赤十字広島看護大学や草津病院（9月12日から）、また一般の方にも協力いただいています。

支援活動は、被災地域との連携が重要です。災害支援拠点を設置するにしても、テントを張るにしても、車を止めるにしても、地域との連携なしには、前に進めることはできません。災害ボランティアセンター運営にあたっては、地区社協会長、町内会長等、地域の方と連携して、被災者の支援を行わさせていただいています。

生協の皆様とは災害支援だけでなく、地域づくりの取り組みなど日頃から緊密に連携させていただいている。この度は、大変お世話になっています。これからもよろしくお願いします。

広島中央保健生協では、8月16日（月）に災害対策本部を設置し、特に被害の大きかった己斐上地区および田方地区の訪問と組合員への電話かけをおこない、被害実態

の把握をすすめました。

本当に助かっています。心よりお礼申し上げます。生協以外からも、日本赤十字広島看護大学や草津病院（9月12日から）、また一般の方にも協力いただいています。

支援活動は、被災地域との連携が重要です。災害支援拠点を設置するにしても、テントを張るにしても、車を止めるにしても、地域との連携なしには、前に進めることはできません。災害ボランティアセンター運営にあたっては、地区社協会長、町内会長等、地域の方と連携して、被災者の支援を行わせていただいています。

生協の皆様とは災害支援だけでなく、地域づくりの取り組みなど日頃から緊密に連携させていただいている。この度は、大変お世話になっています。これからもよろしくお願いします。

の物産について紹介がありました。



## ■第36回中四国生協・行政合同会議（広島会場）が開催されました。

8月31日（火）、ワーケープニア広島にて「第36回中四国生協・行政合同会議」が開催されました。広島県での開催は昨年の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対応で中止となり、2年ぶりの開催となりました。さらに今年度はコロナ禍のため、実参加とZoomを活用したWEB参加によるハイブリッド開催となり、全体で80名の参加となりました。

合同会議は、日本生協連常任理事 小泉信司氏の開会挨拶から始まり、議長に選出された広島県生協連 岡村信秀会長理事の司会で進められました。

WEBを通じて、東京から厚生労働省 消費生活協同組合業務室長 内山徹氏のご挨拶、続いて日本生協連涉外広報部部長 松本圭司氏の「持続可能な社会の実現をめざした全国生協の社会的取り組み」報告がおこなわれました。開催県を代表し、ビデオメッセージで広島県知事 湯崎英彦氏から歓迎と連帯のご挨拶があり、商工労働局観光課BUDYひろしま推進グループ主査 森俊彰氏から広島県

お買い物サポートカーなど地域を支える活動について報告がありました。また、山口県生協連専務理事 荒瀬泰氏から移動店舗やお買い物サポートカーなど地域を支える活動について報告がありました。

次回開催は徳島県になります。徳島県生協連会長 大久保幸氏から、徳島において「前進した連携」を実現し、リアル開催ができることを願っていると述べられ 日本生協連理事 美濃欽也氏による閉会挨拶で終了しました。



会場の様子  
Zoomでの開催

## ■第1回「2021県連生協ゼミナー」を開催

9月17日（金）、第1回「2021県連生協ゼミナー」を開催しました。県内15会員生協の中堅職員を対象とし、今年は30名の受講生で4回の講義をおこないます。（Zoom

○m 参加含む）

将来を担う役職員の育成を目的とし、問題解決能力や知識教養の習得を進めて、今年で3年目となります。

第1回目は、広島経済大学メディアビジネス学部学部長教授 北野尚人（きたのひさと）氏から「次世代のトレンド予測と私たちの行動指針」これからの生協のブランディング戦略とは」と題し、「講演いたきました。先輩・上司の言う事はしっかりと聞きながらも「鵜呑みにせず、自分でしっかり考えること」「過去の成功体験や

サクセスストーリーが通用するとは限らない時代の中、常識を疑い、柔軟に考える能力を身につけることが大切」という考え方のもと、「私たちを取り巻く変化（社会・技術・情報環境）」「若いビジネスマンに求められる役割」「組織活性化に向けてのポイント」「活性化と情報発信の考え方」について説明され、参考事例を紹介されながら「組織特性をどう活性化に生かすか」について、それぞれの受講生が自分の生協に照らし合わせて考えるヒントを頂きました。

実参加した受講生からは「わかりやすかった」「自分たちが考えることが大切だと感じた」などの感想がだされています。



広島経済大学  
メディアビジネス学部  
学部長教授 北野尚人氏

## ■「けんこうチャレンジ2021」 はじまります！



新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出する機会が減り、自宅で過ごす時間が長くなっていますが、家庭を中心には、楽しみながら気軽に健康づくりの習慣を身につけて、生活習慣を見直す機会として取り組みます。子どもから大人まで幅広い世代で健康づくりの輪を広げるため、広島県全域で取り組み者数6000名を目指します。7月～10月の実施期間中、子どもは30日、大人は30日もしくは60日で、取り組みたい項目を選んでチャレンジできます。まずはできそうなことから実行して、心身ともに健康に過ごすための取り組みにしたいと思います。

（報告：広島県生協連 本浦孝典）



## ■コロナ禍だからこそ、 けんこうチャレンジを！

「コロナ禍だからこそ自宅でもできる健康づくりとして例年以上に広げよう」と、近隣の幼稚園や保育園、学童クラブに、けんこうチャレンジキッズ用のパンフレットを広げました。

（幼稚園・保育園が30施設、学童クラブが9施設の総計39施設：9月24日現在）

中広の保育園では、対応された園長先生が、けんこうチャレンジの取り組みに感動され、「是非来年も」と受け取ってくださいました。毎月独自に園児の健康チェック活動をしている保育園からは、「けんこうチャレンジの時期はこのパンフレットを活用させてもらっているんですよ、来年も待ってます！」と。

けんこうチャレンジ2021のパンフレット（大人用）1万1千枚、（キッズ用）1万2千枚以上を配布し、過去最高の普及枚数となりました。（報告：広島中央保健生協）

## ■第48回 広島県生協大会 お知らせ

日 時：2021年10月14日（木）13時～15時

（受付12時30分～）

会 場：サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター5階）

### 《講演》

テーマ：先人の足跡に学ぶ①協同組合の基本的価値と協同のマネジメント』

講 師：広島県生活協同組合連合会 会長理事 岡村 信秀

### 《記念講演》

テーマ：『誰もが安心してくらせる持続可能な地域社会づくりの取り組み』無茶々園における実践をどうおしてく』（仮題）

講師：（株）地域法人無茶々園代表取締役

大津清次氏

※コロナ禍のため、実参加とZoomを活用したオンライン参加によるハイブリッド開催となります。  
お申し込みは広島県生協連までお願いします

### ★新任紹介★

1949年、広島県生協連が発足して72年。

途中、活動休止と解散がありながらも、私が生まれた1960年に生協連絡協議会が発足され、1965年から広島県生協連としてヒロシマの生協運動を進めてきました。

7月から広島県生協連の事務局に加わりました渡辺とおるです。1983年広島県生協連（現生協ひろしま）に入協し、38年間生協で働かせていました。

暑い夏の平和行進や虹のひろば、行政や他生協との連携、『食の安全、など全国規模での活動など、広島県生協連が果たしてきた役割を今まで単協からの視点で見てきましたが、これからは広島県内における生協活動を県連という立場で前進させる力になっていきたいと考えています。先の方々がヒロシマの生協活動を前進させてきたように。

「ヒロシマが変われば、世界が変わる」という思いを常に抱きながら。

組合員の想いと暮らしの実態に寄り添いながら。  
よろしくお願ひします。



## 広島県生協連からのお知らせ

## 副会長理事紹介



副会長理事 難波 隆宏  
(広島県学校生活協同組合 理事長)

関係者の皆様方との連携強化をめざして

今年度より副会長理事に選任されました、広島県学校生活動協同組合の難波と申します。

県生協連では、1967年の設立当時、物価高騰や有害食品、公害問題などが山積する中、市民参加型の新しい形の生協作りにとりくみました。70年代後半になると原水爆禁止の運動に組織参加をして、被爆地ヒロシマの生協として、核兵器廃絶をめざして平和活動にも取り組みました。

近年では、少子高齢化や過疎化、多発する自然災害、そして昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大など、くらしの危機が深刻となっています。行政機関をはじめ関係者の皆様方と一緒に連携を深め、地域に根差した生協活動を進めていくための役割を果たしていきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。



副会長理事 横山 弘成  
(生活協同組合ひろしま 理事長)

視野を高く、足元の困難を克服するために

今年度の総会において副会長に選任されました。

これからはもっと、もっと積極的に県内協同組合連帯に向けて奮闘せよ！という激励を込めた選任だと自らを奮い立たせています。

コロナ禍の終息が見通せない中で、私たちの行動も制限せざるを得ない状況が続きますが、組合員の厳しい暮らしに様々な視点から寄り添い、単独の生協では解決できない困りごとを生協間の垣根を越えた連帯の力で克服できるよう、微力ではありますが、皆さんと一緒に奮闘してみたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

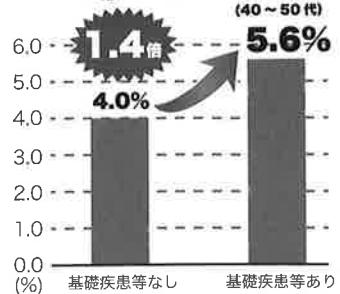
【2021年度役員体制】		所屬生協・役員等	
県連役職	名 前	所屬生協・役員等	員外
代表理事長	岡村 信秀	生活協同組合ひろしま 理事長	
副会長理事	横山 弘成	広島県学校生活協同組合理事長	
常務理事	難波 隆宏	広島県労働者共済生活協同組合 専務理事	
常務理事	杉田 和正	日立造船因島生活協同組合理事長	
常務理事	神野 孝光	広島中央保健生活協同組合 専務理事	
大野 正喜	金築 英司	グリーンコーブ生活協同組合ひろしま 専務理事	
乃美 康志	長谷川 英男	福山医療生活協同組合 専務理事	
賀楽 幸利	片岡 路子	広島修道大学生活協同組合 専務理事	
岩永 信野	塙崎 哲三	竹原生活協同組合理事長	
昌子 哲一	吉山功一 (福山市立大学生活協同組合 専務理事)	広島中央保健生活協同組合 常務理事	
塙崎 昌哉	(福山市立大学生活協同組合 専務理事)	広島医療生活協同組合 専務理事	
宮川 宮島	吉山功一 (福山市立大学生活協同組合 専務理事)	生活協同組合ひろしま 理事長	
大内 佳子	吉山功一 (福山市立大学生活協同組合 専務理事)	三共生活協同組合理事	
花田 瑠也	吉山功一 (福山市立大学生活協同組合 専務理事)	生活協同組合ひろしま 理事	
塙道 俊哉	吉山功一 (福山市立大学生活協同組合 専務理事)	生活協同組合運合会コーブ中国四国事業連合 専務理事	
草野みどり (生活協同組合ひろしま 理事)	吉山功一 (福山市立大学生活協同組合 専務理事)	広島医療生活協同組合 常務理事	

ワクチン接種が進んできている  
今だからこそ、  
あらためて感染対策をしつかりと！



40～50代で、肥満（BMI30以上）や糖尿病、高脂血症等の基礎疾患をお持ちの方は、そうではない方と比較して、中等症（酸素吸入が必要）以上の症状となる確率が1.4倍高いことが県内のデータから分かっています。ワクチンを接種していると、感染した場合でも重症化を予防する効果が期待できますので、積極的な接種をご検討ください。

### 中等症以上になる確率 (40～50代)



発症日の朝、急な発熱がありましたが、まさかコロナウイルスに感染しているとは思いませんでした。先日、ワクチン接種の1回目が終わっていたので、なおさら驚きました。症状としては、喉のイガイガ感があり、緑色の痰が出てきましたが、軽症で済みました。人によって軽症、重症かは大きく異なるのだと思った。

【40代男性】（ワクチン接種1回）



他県どころか、市もまたがないようにし、マスクも手洗い消毒もしっかりしていたのに、本当に悔しいです。

症状としては関節痛や喉の痛み、倦怠感がひどかったです。食欲も無くなり、気が付ければ何も食べず過ごしていました。

ペットボトルのお茶は腐っているように感じました。

もう2度とかからないように、ワクチンを接種したいと思っています。

【40代女性】（ワクチン未接種）



広島県 コロナワクチン

検索

## 消費者トラブルの手口を知りましょう」<sup>18</sup> 適格消費者団体 NPO 法人 消費者ネット広島



インターネットを悪用した詐欺などの被害が後を絶ちません。消費者トラブルは身近なところに存在しています。情報を知り、被害にあうことがないよう、また被害にあったときの対処法について、日頃から備えておきましょう。

### 「フリマアプリで購入した商品が届く前に、相手から「先に出品者の評価をして」と持ちかけられた！」

（独立行政法人国民生活センター 2019年8月9日公表資料より）



フリマアプリで有名ブランドの財布を購入し、代金を支払いました。「出品者の評価をしてくれたら、すぐに商品を発送する」と取引の相手から連絡がありました。まだ商品は届いていませんが、出品者の評価をしてもよいでしょうか？



商品受取前に出品者の評価をする・させることは、フリマサイトやフリマアプリなど、フリーマーケットサービスの利用規約等で禁止されている場合があります。「代金を支払ったのに商品が届かない」などのトラブルが起こることがあるので、出品者から求められても応じないようにしましょう。事前に利用規約等をよく確認し、禁止されている行為は絶対に行わないようにしましょう。



【トラブルにあわないために】

- 質問事例のように、購入者が商品受取前に出品者の評価をした場合、実際には商品が届いていなくても、商品を受け取ったとみなされ、出品者は商品を発送しなくとも売上代金を入手できてしまう可能性があります。もしもこのようなトラブルが起つても、商品受取前に出品者の評価がされていれば、フリマサービス運営事業者による対処が難しくなります。
- 相手から持ちかけられたことに安易に応じず、利用規約等をよく確認し、禁止されている行為は絶対に行わないようにしましょう。
- トラブルになった場合には、まずは十分に当事者間で話し合いをしましょう。トラブルが解決しない場合には、フリマサービス運営事業者に事情を伝え、調査等の協力を得られないか確認してみましょう。それでも交渉が進まない場合は問題点の整理等を行うため最寄りの消費生活センター等（消費者ホットライン188）に相談しましょう

**困ったときは、早めにお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください。  
(消費者ホットライン188)**



全国で被爆ピアノの演奏会を続けるピアノ調律師・矢川光則さんが、私費を投じて、2021年7月「被爆ピアノ資料館」を開館した。資料館は木造平屋建て約90平方メートル。入場は無料。

お問い合わせはTEL082-848-9533 FAX082-215-0320

#### いつでも「被爆資料」に触れることができるよう

私が被爆ピアノに出会ったのは、24年ほど前。原爆で被爆してガラスの破片で傷ついたピアノを被爆者から託されました。全国で被爆ピアノを演奏するようになり、4トントラックにピアノを積み込み、これまで47都道府県の約1,500カ所で、計2,500回以上演奏してきました。元気なうちは全国をまわりたいと思っていますが、年齢を考えるといずれ活動に限りがくるだろう、と。それに、ピアノは動かす楽器ではありません。細心の注意を払って運搬していますが、やはりトラックに揺られ続けるのはピアノにも良くない。これから先の事を考えて資料館を建てようと思いました。

#### 音楽で平和を伝えたい

現在、ヒロシマとナガサキ、合わせて11台の被爆ピアノが残されています。被爆遺品ですが、ピアノは楽器です。資料として見てもらうだけではなく、演奏することで人の五感（聴覚）に直接訴えることができる。そこが他の被爆遺品と違うところではないでしょうか。

#### 被爆ピアノは生きている

被爆者が10人いれば10通りの物語があるように、被爆ピアノにも1台1台に物語があります。私は被爆者の方々からピアノを直接寄贈されたので、修理して音楽で伝えることができます。私は寄贈していただいた方のピアノに込めた物語や想

# 見て、聞いて、触れて 平和を考えるきっかけに

被爆ピアノ資料館 館長

## 矢川 光則

1952年広島生まれ

18歳で上京した後、大手ピアノメーカー等の勤務を経て

1993年に生まれ育った広島の地で、ヤガワ楽器調律センターを開業。

1995年、ピアノ工房の建設を機に古いピアノの再生を行い

福祉施設等への寄与をする奉仕活動を始めた。

奉仕活動を重ねるなか「被爆（ひろしま原爆）ピアノ」と出会い

2001年より平和記念公園でコンサートを始め、

全国で「被爆（ひろしま原爆）ピアノ 平和コンサート」を行っている。

2021年「被爆ピアノ資料館」を開館。

いつも伝えていきたいと思っています。これまで、いろいろなところで演奏をしてきましたが、みなさん「心に直接響いた」「涙がこぼれてきた」とおっしゃいます。私は被爆ピアノを通して原爆のこと、戦争のこと、平和についてお伝えしていますが、いま振り返ると、いろいろな方とお話することで私自身が成長させていただけたことも多かったです。

#### 次の世代に伝えたいこと

平和というのは当たり前に思っていますが、平和のために活動している人がいることを忘れてはいけない。

私は被爆ピアノが、平和について考えるきっかけとなるように活動していますが、若い人たちには、若い人たちの思う方法や伝え方があるでしょう。平和について学ぶ機会はいろいろあります、そこで『思ったこと』『感じたこと』を、ぜひ『行動』に起してほしいですね。その『行動』が平和への第一歩になっていくはずですから。



広島市の爆心地から約1.5～3kmの民家や小学校にあったピアノ計6台に加え、名古屋市、吳市で空襲を受けたピアノも展示。館内のスクリーンで世界各地で演奏された時の様子も流す予定。

#### 編集後記

「私たちの平和活動も制限され思うようにできなくなりました。しかし、コロナ禍だからこそ、新たな活動方法があることに気づきました。たとえば、今回のようなオンラインでの交流です。オンラインでは興味があれば気軽に自宅から参加できます。」

今年7月を迎えた「子ども平和会議」のアピール文の一節です。コロナ禍の中でも活動する子どもたちの思いが詰まっています。今回も子ども平和会議のアピールには胸を打たれました。

また子どもたちは平和への想いを最後にこのようにまとめています。

「大切なのは話し合いで問題を解決することです。お互いがお互いの意見を尊重し、自分と違う意見をまずは受け止め、どう解決するかを決めましょう。これは、あなたと周りの人との間でも、きっと、できることです。」（福島）

#### 広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル5F

TEL:082-532-1300 FAX:082-232-8100

URL:<http://hiroshima.kenren-coop.jp>

e-mail:kenren.h@proof.ocn.ne.jp